

関西武夫原会

今年度の支部活動は、皆さんに楽しんでいただける同窓会を目標に、佐々木興三事務局長の音頭のもと、夏から打合せを重ねていきました。今回は、異動などで名簿から忘れてしまっている同窓生を探し出そうと、「この指とまれ」というホームページにある熊本大学の情報ページを利用して、関西武夫原会の同窓会開催の告知を行いました。結果、問い合わせは二件(そのうちお一人は工学部卒の方)で、IT革命にはほど遠かったのですが、今後、元・熊大生の利用が増えれば、同窓生を結ぶ有効な手段として期待できそうです。こうして迎えた同窓会は、一月一七日、おなじみの太閤園にて開催されました。本部よりご臨席賜った熊本大学文学部教授の森正人先生をはじめ、東京武夫原会の笹原弘副会長、初めてのご案内を申し上げたところ、快くご出席を賜った福岡武夫原会の末藤洋会長、そして、熊本学

園大学関西志文会、熊本県立大学紫苑会、熊本県・熊本市両大阪事務所の皆様方にもご臨席賜り、和やかな雰囲気の中で総会が始まりました。

業務・会計報告、新任役員
の紹介に引き続き、昭和二九年卒の緒方学氏による乾杯のご発声で、懇親会の部がスタート。太閤園自慢の和洋折衷料理に加え、昨年初登場して大好評だった熊本直送の馬刺し、辛子レンコン、球磨焼酎などがズラリと並んだ円卓は、右にクルクル、左にクルクルと回って、いつときも止



まりません。このときばかりは、昭和組の先輩方の勢いに負けじと、平成組の私も中腰に構えて応戦しました。

懇談の合い間には、新発足した「関西武夫原会ゴルフ同好会」会長で昭和三三年卒の米良健彦氏によるコンペ参加者の募集や、熊本県の広報ビデオの上映が行われ、余興のじゃんけんゲームでは、参加者の中で最後まで勝ち続けた人と、負け続けた人それぞれに、「二泊三日の温泉旅行(正しくは入浴剤が二個)」などが贈られました。さらに、「オソーレミーオ」とパバロッティばりのノドを披露された三吉邦雄常任幹事による、初参加者・ペア出席者・遠方よりの出席者が紹介されたあと、会場は恒例のビンゴゲームへ突入。早くあがった人から順に企業のノベルティーグッズやお酒、トイレットペーパーなどの景品が選べるとあって、皆さん顔は赤くとも目は真剣。家族へのおみやげとなる景品が行き渡ったところで、クライマックスの寮歌斉唱へ。ステージで「ぶっげんとーにー」と歌い踊る先輩方の笑顔に、元気をわけていただいた同窓会でした。出席者数八五名。世紀のメにふさわしい大盛況ぶりでした。